

# 広報ししま



## 区制50周年



昭和24年ごろの千川の桜（右上は現在のようす）



豊島区制施行50周年を記念して各種の事業が計画されています。

この記念事業は、区内各界の代表者で構成されている50周年記念事業実行委員会で決められ、実施されるもので、44事業が予定されています。これらの事業のうち民間の方がたで組織されている実施運営委員会が主体となって実施される行事が14事業あります。すでにミス・アゼリア（ミス豊島区）コンテストなど、終了した行事もありますが、今回の特集号では、記念事業の一覧表のほか、9月に予定されている記念行事の内容と建設事業等を中心にして、ご紹介します。区民の皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。なお、9月20日の特集号では、9月末以降の記念行事を中心に紹介する予定です。

豊島区制施行50周年にあたって



豊島区長・日比寛道

本年は、昭和7年10月1日に豊島区が誕生してから50周年という豊島区の歴史の中で大きな節目にあたる年でもあります。

当時の東京府北豊島郡東池袋町、西栗鴨町、高田町、長崎町の4町が合併して、東京市豊島区制が施行された次第であります。大正12年の関東大震災以後、この4町も市街化が進み、人口も昭和7年合併当時の25万6千人から昭和15年には31万2千余人と急激に増加して著しい発展をみました。

ところが、第二次世界大戦による昭和20年の空襲で区内の70パーセント弱が被災し、見渡す限り瓦礫の山の焦土と化したのであります。

しかしながら、この荒廃の中から全区民が立ち上り、幾多の困難を乗り越えて、地域の復興に努められ、現在、巨大都市東京の副都心として発展を続けている豊島区の礎を築かれたのであります。

ここに任時を偲ぶとき、深い感銘を覚えるのであります。

区としましては、この記念すべき50周年にあたり、過ぎし半世紀における先人の研鑽、努力の成果をたたえ、これを継承するとともに、将来を展望して建設的な一歩を踏み出す意義深い年にすべきだと思っております。

幸いにしまして、区内各地域における多くの区民の方の積極的なご協力を得まして、各種の記念事業を計画推進しているところであります。

ここで、豊島区の将来展望につきまして若干触れておきたいと思っております。

ご案内のとおり、区政の総合的

計画的な運営の指針として、21世紀を目指した豊島区の都市像を、「みんなできずく生活文化都市としま」とした豊島区基本構想が、昨年3月区議会において議決されました。

この生活文化都市の具体像は、次のとおりであります。

- 1 ぐらしのなかでねづいていく個性ある地域文化にいろどられた「文化をはぐくむまち」
- 2 健康で文化的な生活がいとなく、すべての区民に開かれた「生活を尊重するまち」
- 3 いきいきとしたにぎわいと、ふれあいにささえられた「活力のあるまち」
- 4 区民の生命と財産をまもり、安心して生活できる「災害に強いまち」
- 5 生活の場にゆとりをとりもどせる、美しい「うるおいのあるまち」

現在、引き続き、基本構想審議会におきまして、この基本構想に基づく「豊島区基本計画」の策定が精力的に進められています。

この基本計画は、豊島区の現状と課題をひとつひとつ検討したうえで、各種施策の達成目標とそこへ到達する方策を明らかにするものであります。昭和58年度から昭和67年度までの10か年を計画期間としております。

区制施行50周年を迎えた本区にとりまして、区政100年の後半世紀の第一歩をしるす誠意に有意義な計画と思っております。

既に、原案の要旨を広報紙でお示しいたしておりますので、区民の皆さまから積極的なご意見をお寄せいただき、この基本計画の策定にご協力くださいますようお願いいたします。

終りに臨み、より多くの区民の皆さまが各種の50周年記念行事にご参加くださることを期待しますと同時に、今後とも明るい地域社会の建設に向けて、区民の皆さまと手を携え、努力することを誓いまして、私のあいさつとします。

# 9月の行事紹介

## アゼリアウォーキングラリー



豊島区をより多くの人に見て、回って、楽しんでもらうために、区内に50か所のポイントを設け、ウォーキングラリーを行います。

◇日時：9月23日(祝) 午前10時～午後3時(小雨決行)

◇ラリーの仕方

- 参加者はいずれかのポイントに集合してください。午前10時に同時にスタートします。
- 指定された50か所のポイントを5時間以内に行けるだけ多く回ってください。重点10ポイントのうち5ポイントは必ず回ってください。
- 交通機関は、電車、地下鉄、バス、徒歩とします。自動車、オートバイ、バイク、自転車を、使用した場合は失格とします。
- サンシャイン広場にゴールインしてください。ゴールインの際、重点ポイント5か所を含めて回ってきた人に参加賞を渡します。

◇定員：2千名(先着順)

◇申込み：9月6日までに、体育課および各出張所に置いてある申込書で申し込んでください。

◇詳細：体育課体育係 3485へ。

◎参加者は、事前に医師の健康診断を受けておいてください。

## サンシャイン60かけ登り大会

◇日時…9月19日(日) 午前9時競技開始(受付は4階北側ロビーで午前8時～8時30分)

◇コース…サンシャイン60の西側階段(4階～60階)

◇参加資格…区内在住、在勤または在学の方

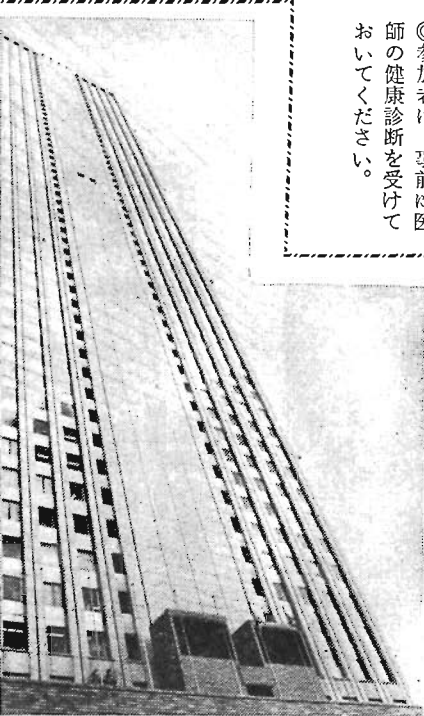
◇部別と定員…高校生の部=100名、一般男子の部(40歳以下)=200名、壮年の部(60歳以下)=100名、女子の部(高校生を含む)=100名(いずれも先着順)

◇競技方法…各別に2名ずつ階段をかけ登り、タイムを競います。

◇申込み…体育課および各出張所に置いてある申込書に記入し、体育課窓口にお持ちになるか、または郵便で「〒170 豊島区東池袋1の18の1 豊島区教育委員会体育課サンシャイン60かけ登り大会の係」へ。電話申込みはできません。

◇詳細…体育係 3485へ。

◎競技中の事故については、応急処置のみで、以後の責任は負いませんので、事前に必ず医師の健康診断を受けておいてください。



## 回ふる祭り

西口

は、午後1時30分からと3時30分から子供山車、6時30分からやっさ踊りを行うほか、8時退場が出ます。

は、午前11時30分から子供山車・子供神輿町、午後1時30分から神輿パレードを行うほか、6時退場が出ます。



## 第10回豊島区消費生活展

「暮らしの未来を考えよう」

消費生活の向上に役立てていただくため、消費者団体、婦人団体の日ごろの研究活動の成果を発表します。

◇期間：9月7日～12日

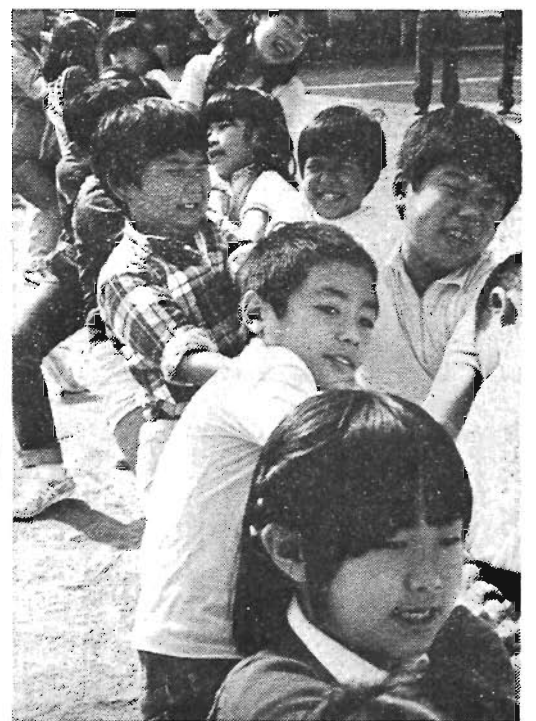
◇会場：サンシャイン三越(4階催し物会場)

◇各団体の出展テーマ(内容)

- ▽豊島区婦人団体協議会：自然のなかに薬を求めて(薬草、スパイス、薬味)
- ▽豊島区消費者の会：来たるべき高齢化社会を迎えて(高齢化社会に対する心構え、老後と社会福祉への参加、再就職)
- ▽新日本婦人の会豊島支部：安全な化粧品を求めて(化粧品公害)
- ▽都民生協豊島連絡会：あなたの塩分・糖分は(低塩・低糖食品の展示と試食、塩分・糖分のチェック表)
- ▽としまく消費グループめばえ：あなたの食生活は……(食生活の現在、未来)
- ▽MOA東京本部・自然農法研究会：これからの食糧問題と自然農法(自然農法と一般農法の違い)
- ▽仲好し子豚会：味噌の歴史とその展望(製造過程の今昔)
- ▽豊島水産会：足と健康(足と靴のかかり合)
- ▽さくら会：非常時と食糧不足時代に備えて(災害に備え準備しておきたい食糧と品物)
- ▽長崎貯蓄奨励地区：貯蓄奨励(生活設計試行)

以上のほか、公共企業による相談コーナー、すきみみずくの製作実演コーナー、アトラクションコーナー(綿あめ無料配付)、水ヨーヨー釣りコーナーなどがあります。

◇詳細：消費経済係 2455へ



## ちびっこ運動会

子供といっしょに参加して、楽しい一日を過ごしましょう。

◇日時：9月23日(祝) 午前9時30分～午後2時30分

◇会場：池袋駅西口子ども広場

◇競技種目：パン食い競争、2人3脚、つなひき、大玉おくり、50mリレーほか

◎オープニングセレモニーとして小学生の鼓笛隊が会場内をパレードし、中央で演奏します。休憩時間には、大学体操部の新体操の演技披露もあります。

## 第9回大地祭

池袋駅東口

●9月11日(午後6時～9時)は、阿波踊りを行います。

15連(高円寺から5連、大塚から2連)が参加します。

区制50周年にちなんで、一般参加の連を募集していますので、参加希望の方は、8月30日までに大地祭実行委員会事務局 982-8322へお申し込みください。

ミス・アゼリアも参加します。

●9月12日(正午～午後5時)は、東口の5町会による合同神輿が出ます。





建設事業等8事業

勤労福祉会館の建設

区内の中小企業で働く、約18万人の勤労者の皆さんの福利厚生施設として建設されます。

会館の主な事業としては、勤労者の皆さんが気軽に利用でき仕事の疲れをいやす憩いの場、体力づくりの場、および団体、サークルなどの会議や集会、レクリエーションの場の提供を図ることで...

総合教育文化施設の建設

現在、プロジェクト・チームによる検討が進められており、近くその内容が決定される予定です。この施設は、学校教育に関する調査・研究・普及や教育相談に応じるための教育会館的機能、図書館、体育館、展示室、音楽室その他の社会教育会館的機能を持ち、区の教育・文化の中心的総合施設となる予定です。

野外運動場の建設

最近、スポーツ人口が急増し、区内の体育施設とわけ野外施設

は、絶対的に不足してきています。この窮状を打開するため、区外近郊、車で一時間前後の場所に適地を探しています。

桜並木の造成

神田川河川敷地内に、豊島区の木と花である染井吉野、つつじを植栽し、照明施設を加え散策路として整備します。

区施設の緑化

各出先施設に染井吉野、サザンカ、つつじを植樹するとともに、区役所別館東側道路沿いにカイヅカイブキを列植し、区施設の緑化を図ります。

緑の実態調査

昭和48年に実施した調査を基礎

地方都市との連携のための調査

自然が豊かな地方都市との連携を図ることにより、区民の自然とのふれあい、文化の交流およびスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

「区議会史」編さん

昭和7年から現在に至る、豊島区会および豊島区議会の歴史を記録し、各時代の史実を「本編」として編さんし、発行します。

第11回大塚阿波踊り

日時：9月4日(土)午後5時～10時(雨天の場合は11日)
場所：大塚駅南口(山海楼)菜鴨信用金庫、500m
参加連：地元連、金融機関連、東武連など、招待連を含めて14連(約千人)



50周年記念事業一覽

Table with 3 columns: 事業名 (Event Name), 開催期日 (Date), 開催場所 (Venue). It lists various events from September to November, including festivals, sports events, and cultural activities.

# 豊島区の歩み

## I 豊島区の成立まで

明治政府が成立すると、明治2年の版籍奉還、4年の廃藩置県を経て、明治11年には郡区町村編成法が公布され、現豊島区地域の大部分は北豊島郡に含まれることになりました。明治22年には、町村制が実施され、栗嶋町・栗嶋村・高田村・長崎村が成立しました。

そのころの豊島の様子は、田畑が多く、ことに大根の産地として有名で、にぎやかだったのは中山道に沿った栗嶋と雑司が谷の鬼子母神あたりだけでした。

その後の池袋を中心とした豊島区の発展の基礎となったのは、明治18年の山手線の開通でした。加えて東上鉄道、武蔵野鉄道など私鉄が開通するようになると、池袋

は交通の要衝となっていきました。また、豊島師範をはじめとして立教、学習院などの学校も開校し次第に、住宅地化が進んできました。

II 豊島区誕生から戦争へ  
第一次大戦による好景気や関東大震災による都心部の壊滅により市外に移り住む人も急激に増加してきました。

そのため、東京市の市域拡張の機運が盛り上がり、ついに昭和7年に市郡併合が実現しました。ここに栗嶋町・西栗嶋町・高田町・長崎町を合わせて豊島区が成立しました。

満州事変、日中戦争、太平洋戦争と戦火が拡大していくなかで、国民の生活も戦時色が次第に濃くなり、戦争完遂のため耐乏生活を強いられるようになりました。

III 復興から発展の基盤づくりへ  
昭和20年、豊島区の7割が灰燼に帰すという惨禍を残して終戦を迎えると、直ちに再建にとりかかりました。

まず手がけたことは、戦災にあった主要道路の補修、各地域の区画整理、および戦災者、引揚者、避難者に対する生活援助、配給の手配などでした。

教育の再建には特に力が入られ、新教育制度のもとに、焼失した小学校校舎の建築と新制中学校の新築が急がれました。学校給食も実施されるようになりました。

昭和30年代に入ると、庶民の生活にもいづらかゆとりがみられるようになり、池袋周辺には、大型デパートが新たに開店したり、映画街は空前の盛況ぶりを示しました。

IV 高度成長の波  
36年には豊島区総合庁舎が完成し、東京オリンピックを境に豊島区は急激に変化します。空間には首都高速道路が伸び、地下には新たな地下鉄が開通し、道路の交通量はますます増えていきました。

生活が豊かになる一方、排気ガスや騒音、高層ビルの増加による日照権問題、乱開発による自然破壊など環境の悪化をひき起こすようになり、人々は経済至上主義への反省をこめて、環境破壊をくい止め人間性を回復を求めて行動を起こし始めました。住みよい環境づくりを目指す区民の要望に応えるため、豊島区でもきめのこまかい施策が求められてくるようになりました。

V 豊かな豊島区をめざして  
昭和50年には区長公選制が実現され、都から区へ大幅な事務事業の移管が行われました。身近な自治体としての区の独自性が発揮されることとなり、「地方の時代」ということが流行します。

豊島区では、福祉と防災を柱として住民福祉の向上を目指してきました。現在豊島区では、昭和56年に基本構想で示された将来像である「みんなできずく生活文化都市としま」を実現するため基本計画を策定中で、さらに豊かな街づくりを進めていきます。

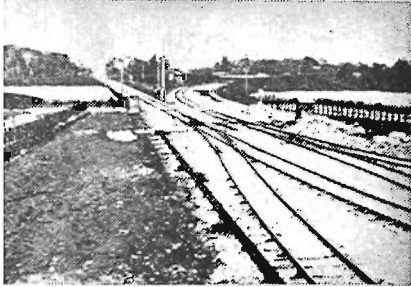
この写真集は、昭和7年の豊島区誕生から今日までの庶民の暮らしや町の姿の移り変わりなど多角的に郷土の歴史をとらえていくものです。また、その序編として、区制施行以前の明治・大正・昭和初期の貴重な写真も掲載します。

なお、この写真集の制作にあたって、区民の皆さんをはじめ、各方面から写真の提供をいただきました。その中から選んだ約400点の写真にスケッチ等をまじえて、編集構成されるものです。

発行は10月上旬の予定です。価格および販売方法等は「広報としま」9月25日号でお知らせします。

ぜひご購入ください。  
写真と資料にみる『豊島区50年の歩み展』開催  
豊島区の50年をふりかえる『豊島区50年の歩み展』を10月3日から9日まで豊島区民センターで開催します。

西暦	年号	月	事項
1868	明治1	11	長崎村以外の現豊島区地域内の町村東京府に編入
1869		2	長崎村大宮県に入る
1871		4	大区小区制施行
1871		7	廃藩置県
1871		12	長崎村東京府に編入
1878		11	現豊島区地域の町村の大部分は北豊島郡に属す
1885		18	日本鉄道 赤羽・品川間開通
1889		22	大日本帝国憲法発布
1889		5	市町村制施行、現豊島区地域には栗嶋町、栗嶋村、高田村、長崎村が成立
1894		27	日清戦争
1895		28	警視庁監獄栗嶋支署栗嶋村に設置
1903		36	山手線 田端・池袋間開通
1904		37	日露戦争
1908		41	学習院 高田村に移転
1909		42	栗嶋村に豊島師範学校移転
1914	大正3	5	東上鉄道 池袋・田面沢間開通
1914		5	第一次世界大戦
1915		4	武蔵野鉄道 池袋・飯能間営業開始
1918		7	栗嶋村町制施行、西栗嶋町となる
1918		9	立教大学西栗嶋へ移転
1920		9	高田村町制施行
1923		12	関東大震災
1926		15	長崎村町制施行
1929	昭和4	4	世界的経済大恐慌
1931		6	満州事変起る
1932		7	東京市域拡張 豊島区の誕生
1936		11	2・26事件
1937		12	日中戦争始まる
1937		10	区に国民精神総動員実行部設置
1938		13	豊島区公会堂(旧)竣工
1939		14	市池袋線開通
1939		14	警防団設置
1941		16	太平洋戦争始まる
1943		18	東京都制施行
1944		19	国民学校児童集団疎開開始
1945		20	区内空襲、罹災により仮区役所を立教中学校内に開く
1945		8	太平洋戦争終わる
1945		11	米軍東京拘置所を接収、栗嶋ブリズンと呼称、戦犯容疑者収容
1946		21	豊島区役所元池袋病院と関東配電出張所あとに移転
1946		11	日本国憲法公布
1947		22	地方自治法施行
1948		23	東京都豊島保健所発足
1949		24	豊島区政ニュース(『広報としま』の前身)発行
1951		26	豊島福祉事務所発足
1952		27	豊島公会堂落成
1954		29	地下鉄丸の内線 池袋・御茶ノ水間開通
1954		7	豊島荘開設
1958		33	豊島図書館開館
1959		34	主要道路の舗装完了
1961		36	池袋西口マーケット取り壊し開始
1961		7	総合庁舎竣工
1965		40	福祉事務所や保健衛生などの事務が区に移管
1967		42	区内初の児童館「高田児童館」開館
1967		9	豊島体育館開設
1968		43	都営地下鉄三田線 高島平・三田間開通
1969		44	豊島区民センター開設
1969		12	首都高速5号線 一ツ橋・北池袋間開通
1970		45	さくらの家開設
1972		47	千川上水最後の掘削に蓋かけ
1972		4	老人福祉センター開設
1973		48	千早社会教育会館開館
1974		49	地下鉄有楽町線 池袋・銀座一丁目間開通
1975		50	区長公選制復活、人事権や保健所などの事務が区に移管
1976		51	豊島区高齢者事業団設立
1978		53	サンシャイン60オープン
1980		54	グリーン大通り完成
1981		56	豊島区基本構想策定される
1981		5	豊島区基本計画の策定始まる
1982		57	豊島区制施行50周年記念式典



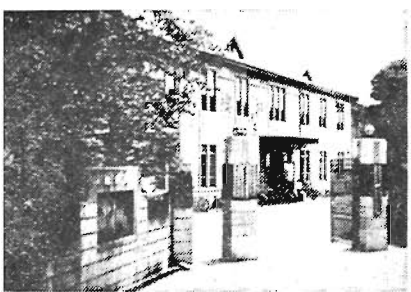
明治36~37年 山手線、赤羽線の分岐点



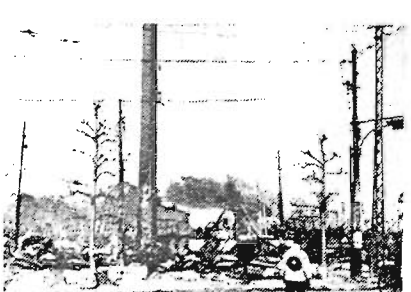
大正12年 栗嶋から見た関東大震災の猛煙



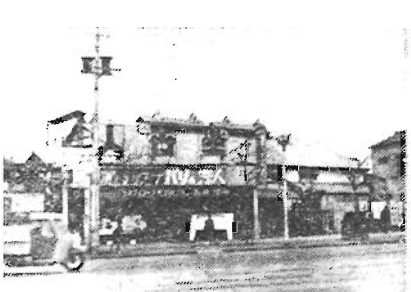
昭和初期 栗嶋宮仲通り



開庁時の区役所庁舎



昭和20年 高田本町戦災の跡



昭和35年ごろ 人世座

写真集『写真でみる豊島区50年の歩み』発行  
豊島区では、区制施行50周年を記念して、写真集『写真でみる豊島区50年の歩み』を発行します。

この写真集は、昭和7年の豊島区誕生から今日までの庶民の暮らしや町の姿の移り変わりなど多角的に郷土の歴史をとらえていくものです。また、その序編として、区制施行以前の明治・大正・昭和初期の貴重な写真も掲載します。

なお、この写真集の制作にあたって、区民の皆さんをはじめ、各方面から写真の提供をいただきました。その中から選んだ約400点の写真にスケッチ等をまじえて、編集構成されるものです。

発行は10月上旬の予定です。価格および販売方法等は「広報としま」9月25日号でお知らせします。

発行は10月上旬の予定です。価格および販売方法等は「広報としま」9月25日号でお知らせします。

ぜひご購入ください。  
写真と資料にみる『豊島区50年の歩み展』開催  
豊島区の50年をふりかえる『豊島区50年の歩み展』を10月3日から9日まで豊島区民センターで開催します。

この「歩み展」は、100余点の写真で豊島区の歴史をつづりながら、当時のなつかしい資料を多彩に展示すると同時に、郷土コーナーを設け、民芸品や名所、お祭りなども紹介します。

くわしいことは、「広報としま」9月15日号および25日号でお知らせします。